

株式
会社

芝浦電子

スタンダード市場：6957

2023年度 第2四半期 決算説明会

2023年 11月 28日



01

財務データ

2023年度 第2四半期 決算説明

2023年度 第2四半期 業績

2023年度 第2四半期 実績

売上高	16,183百万円	前年同期比	1.1%減
営業利益額	2,575百万円	前年同期比	1.2%減
売上高営業利益率	15.9%	前年同期実績	15.9%
1株あたり四半期純利益	245.59円	前年同期実績	237.97円
年間配当金	220円 (予定)	前年実績	200円

- 売上高 前年同期比 ▲1.1%
 - ・ オートモーティブやエアコン用、汎用インバーター用などが増加
 - ・ 家電用、住設用は中国の需要弱含みが影響し、前年同期比減少
- 営業利益額 前年同期比 ▲1.2%
 - ・ 売上高の減少や、人件費など固定費の増加などにより営業利益額、売上高営業利益率は、前年同期から低下

2023年度 通期業績計画

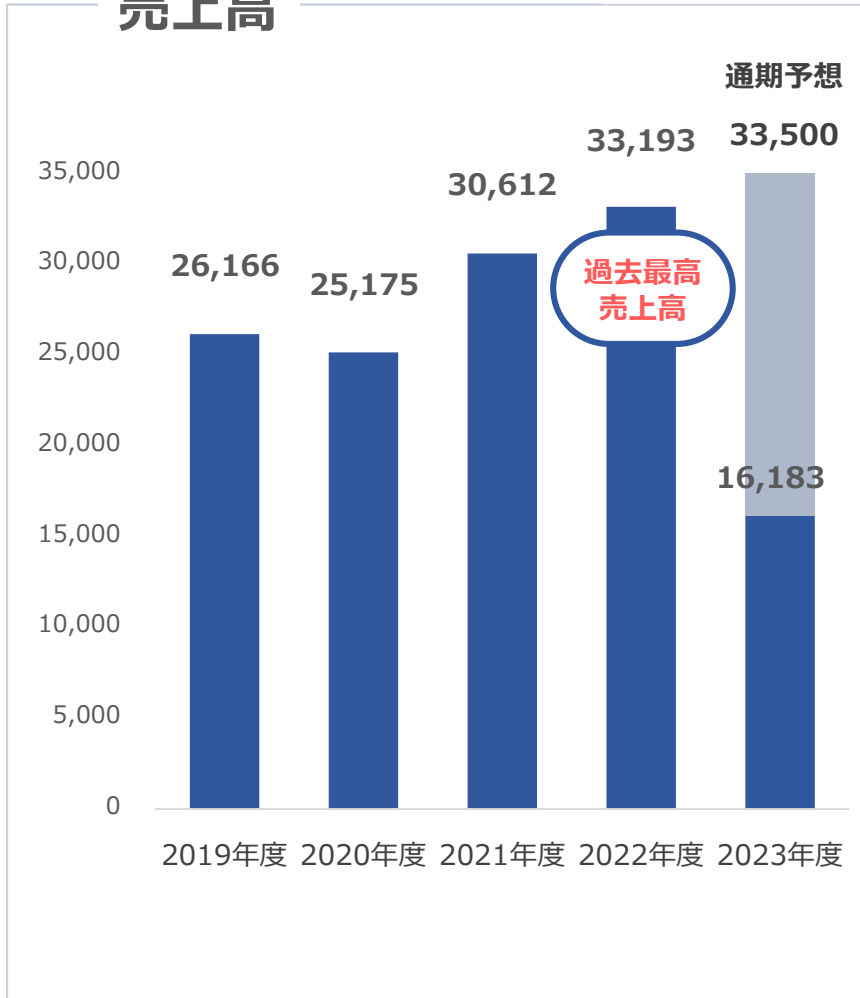
(単位：百万円)

	2022年度			2023年度			
	上期	下期	通期	上期 〈実績〉	下期 〈計画〉	通期 〈計画〉	前年度比
売上高	16,370	16,823	33,193	16,183	17,317	33,500	100.9%
営業利益額 (利益率)	2,606 (15.9%)	2,854 (17.0%)	5,460 (16.4%)	2,575 (15.9%)	2,925 (16.9%)	5,500 (16.4%)	100.7%
経常利益 (利益率)	2,787 (17.0%)	2,830 (16.8%)	5,617 (16.9%)	2,726 (16.8%)	2,774 (16.0%)	5,500 (16.4%)	97.9%
当期純利益 (利益率)	1,829 (11.2%)	2,001 (11.9%)	3,830 (11.5%)	1,869 (11.5%)	2,031 (11.7%)	3,900 (11.6%)	101.8%

- 世界的な金利上昇や紛争による地学的リスクの高まりなど、景気停滞の懸念
- 中国では不動産市場の低迷で、経済活動が鈍化
- 日本国内では、世界経済の停滞を受け輸出が減少、円安による輸入価格の上昇の懸念がある一方、企業の業績回復を背景に景気は回復基調
- 半導体不足緩和により自動車生産が回復するなど一部では改善がみられるが、家電製品等、最終需要の低迷など回復が遅れている分野も見られる

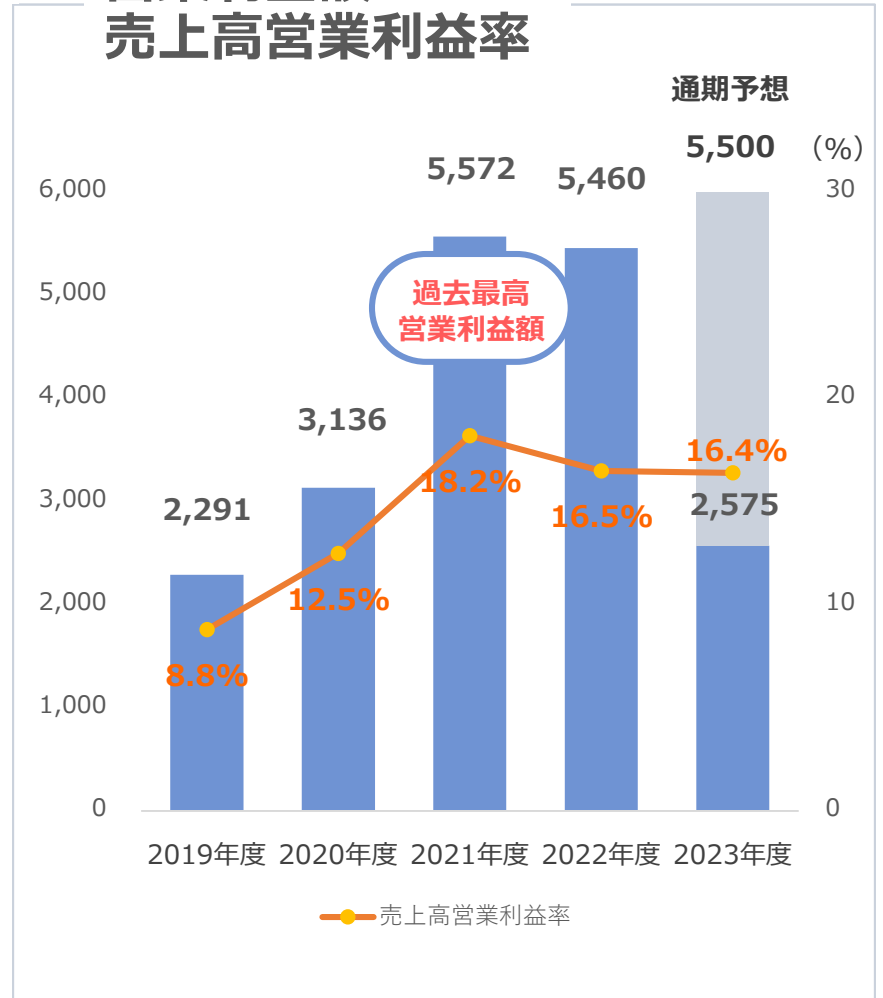
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

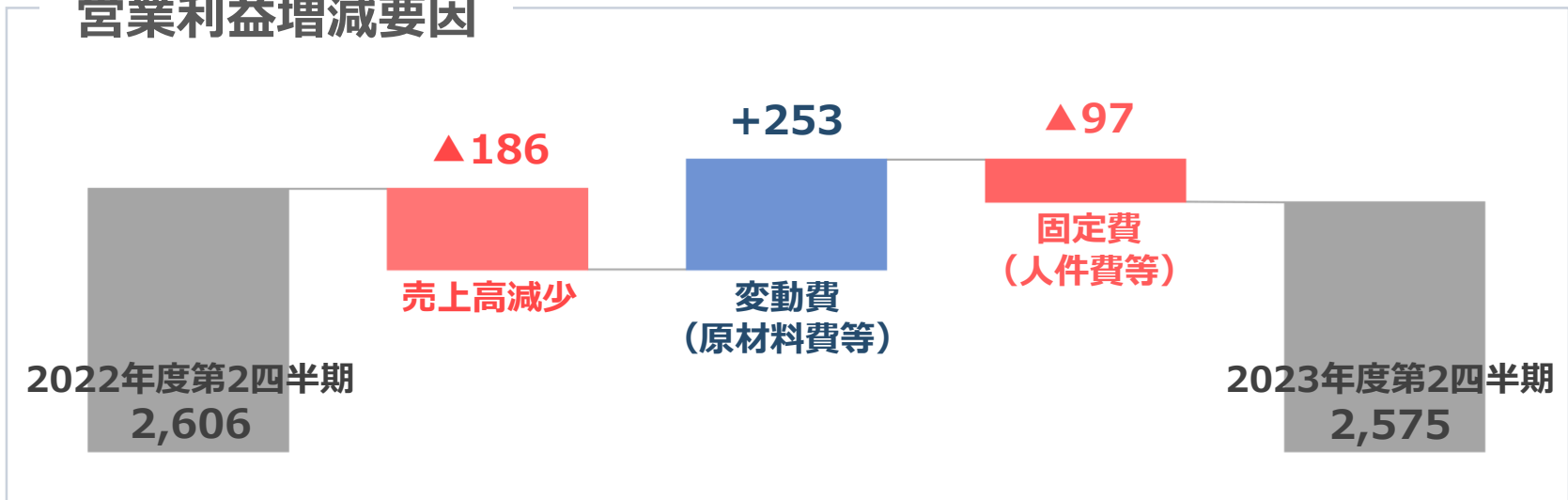
営業利益額 売上高営業利益率



営業利益 増減要因（前年同期対比）

（単位：百万円）

営業利益増減要因

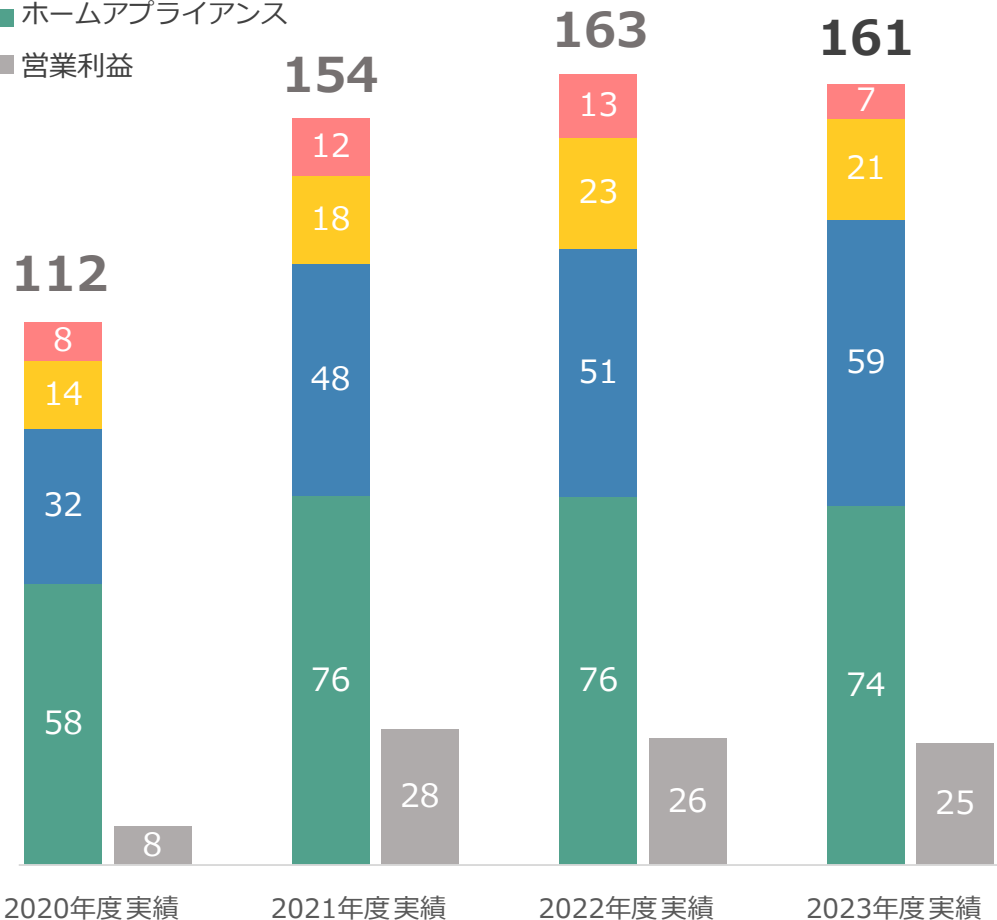


- 前年同期比で営業利益が31百万円減少
- 売上高が186百万円減少、変動費は253百万円減少したが、固定費が97百万円増加
- 変動費では、原材料費が841百万円減少したが、在庫減少により373百万円増加、電気料金は73百万円増加した
- 固定費では、人件費が75百万円増加、減価償却費が11百万円増加した

用途別売上高 第2四半期比較

(売上高：億円)

- その他
- インダストリアル
- オートモーティブ
- ホームアプライアンス
- 営業利益



ホームアプライアンス ▲2.1億円

- 家電は減少傾向が続く
- エアコンは、前年同期比では増加しているが、第1四半期比では減少
中国の需要弱含みの影響
- 給湯器は昨年をピークに減少傾向
- 昨年の挽回生産からの反動減

オートモーティブ +8.2億円

- モーター向けは引き続き好調
- 高温用素子は四半期で過去最高の売り上げを記録

インダストリアル ▲1.8億円

- OAは引き続き減少傾向が続く
- 産機のうち風力発電のインバーターに使われるIGBT向け素子が増加

その他 ▲6.0億円

- 区分見直しにより減少

用途別売上概況 <ホームアプライアンス>

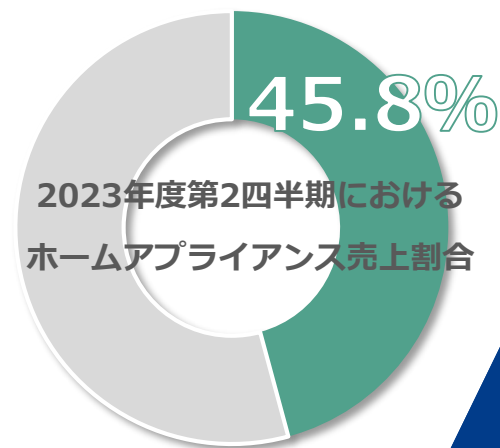


上期の概況

- コーヒーメーカーや電子レンジなどの調理用家電、ガス給湯器などの住設機器向けが前年対比では減少も、家電は四半期ベースでは復調の兆し
- エアコンは、前年同期比では増加しているが、四半期ベースでは減少
- 給湯器は昨年をピークに減少傾向、昨年の挽回生産からの反動減

下期の施策

- 調理用等の家電が復調
- 空調市場において、中国・欧州などインバーター化が見込まれる地域での拡販
- アジアの成長地域における事業拡大



用途別売上概況 <オートモーティブ>

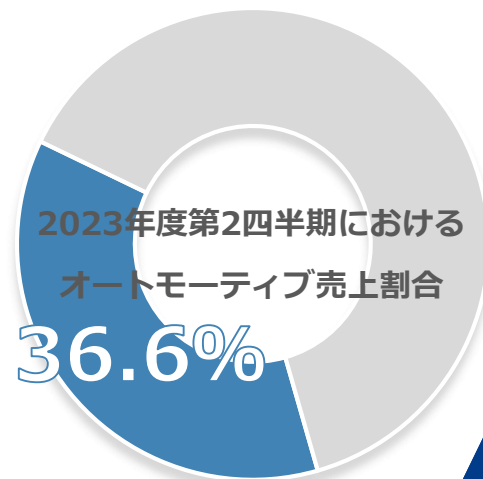
上期の概況

- EV,HV用モーター向けが引き続き好調
- 高温用素子は四半期で過去最高の売り上げを記録
- インバーター向けも堅調



下期の施策

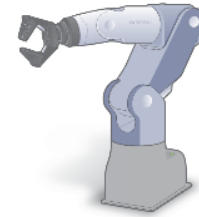
- 車載市場の変化及び顧客の要望に対応し、従来から注力している、モーター、高温用素子、インバーター向けを中心に売上の拡大を目指す
- 中国のEV市場での拡販



用途別売上概況 <インダストリアル>

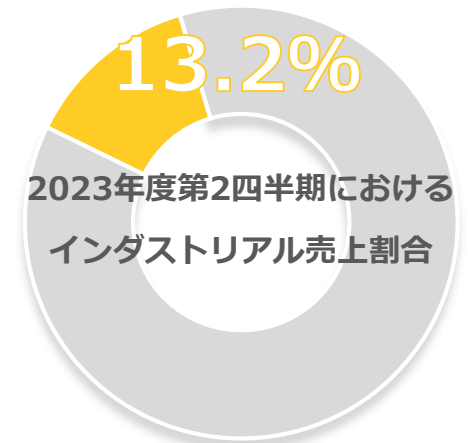
上期の概況

- OAは減少傾向が続く
- 産機のうち、風力発電のインバーターに使われるIGBT向け素子が増加
- ロボットや工作機械向けは伸び悩む



下期の施策

- 成長分野である、再生可能エネルギー発電システム向けの素子の販売に注力
- アジアの成長地域における事業拡大の推進



損益計算書（要約）

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減額	増減率
売上高	16,370	16,183	▲187	▲1.1%
売上原価	11,945	11,719	▲226	▲1.9%
売上総利益	4,425	4,464	39	0.9%
販売管理費	1,819	1,889	70	3.8%
営業利益	2,606	2,575	▲31	▲1.2%
営業外収益	189	157	▲32	▲16.9%
営業外費用	8	6	▲2	▲25.0%
経常利益	2,787	2,726	▲61	▲2.2%
特別利益	0	64	64	-
特別損失	6	5	▲1	▲16.7%
法人税等	948	914	▲34	▲3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,829	1,869	40	2.2%

※ 特別利益 64百万円について

- 2021年度第2四半期に発生した香港子会社での送金詐欺事件の被害のうち、63百万円を回収、特別利益として計上

貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

2023年3月末 2023年9月末 増減額

資産合計	40,930	42,456	+1,526
売上債権	8,272	8,970	+698
棚卸資産	8,805	8,683	▲122
固定資産	10,644	11,379	+735
負債合計	9,147	9,420	+273
流動負債	7,841	8,395	+554
固定負債	1,306	1,025	▲281
純資産合計	31,783	33,035	+1,252
自己資本	31,740	32,990	+1,250
為替換算調整勘定	2,026	2,670	+644
自己資本比率	77.5%	77.7%	-

【資産】

- 売上債権は増加したが、棚卸資産は減少
- 国内外各社での生産性向上のための設備投資により有形固定資産が440百万円増加
- 従業員持株会向けに譲渡制限付株式（RS）を割り当てたことにより、固定資産における長期前払費用が180百万円増加

【純資産】

- 当期純利益1,870百万円の一方で、配当金の支払い、自己株式の減少、円安による為替換算調整勘定の増加等により、純資産は1,252百万円増加

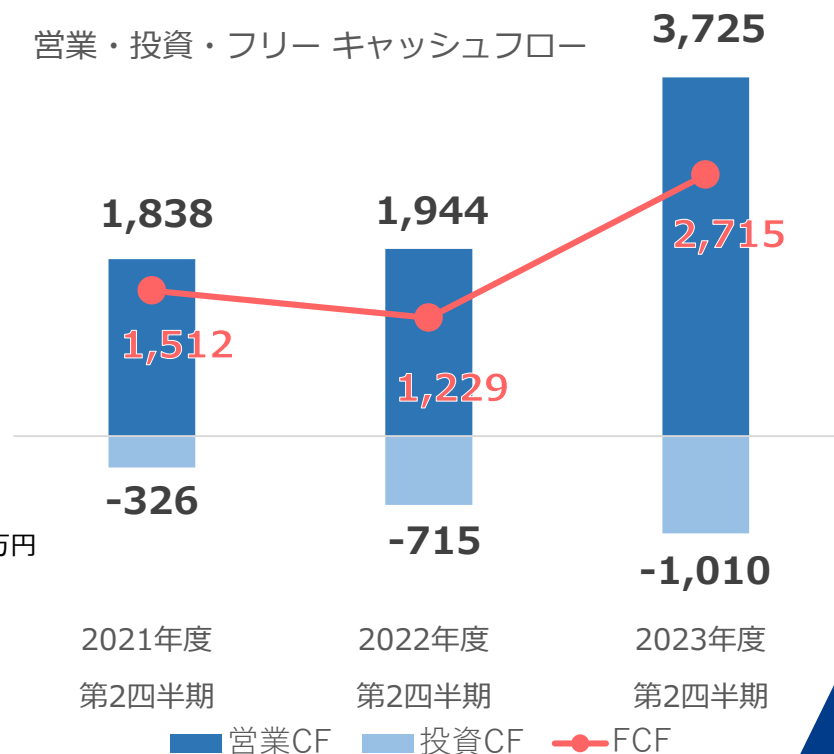
キャッシュフロー(CF)

(単位：百万円)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期
営業活動によるCF	1,838	1,944	3,725
税前損益	2,542	2,780	2,785
減価償却費	749	726	737
棚卸資産	▲928	▲180	332
売上債権	▲478	▲480	▲485
その他	▲47	▲902	356
投資活動によるCF	▲326	▲715	▲1,010
設備投資	▲232	▲698	▲967
その他	▲94	▲17	▲43
フリーCF	1,512	1,229	2,715

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期
財務活動によるCF	▲1,453	▲1,834	▲2,085
借入金返済	▲667	▲668	▲550
配当金支払	▲582	▲1,163	▲1,530
その他	▲204	▲2	▲5

営業・投資・フリー キャッシュフロー



■ フリーCF=営業活動によるCF-投資活動によるCF

◆ 営業活動によるCF 2023年度第2四半期-2022年度第2四半期+1,781百万円

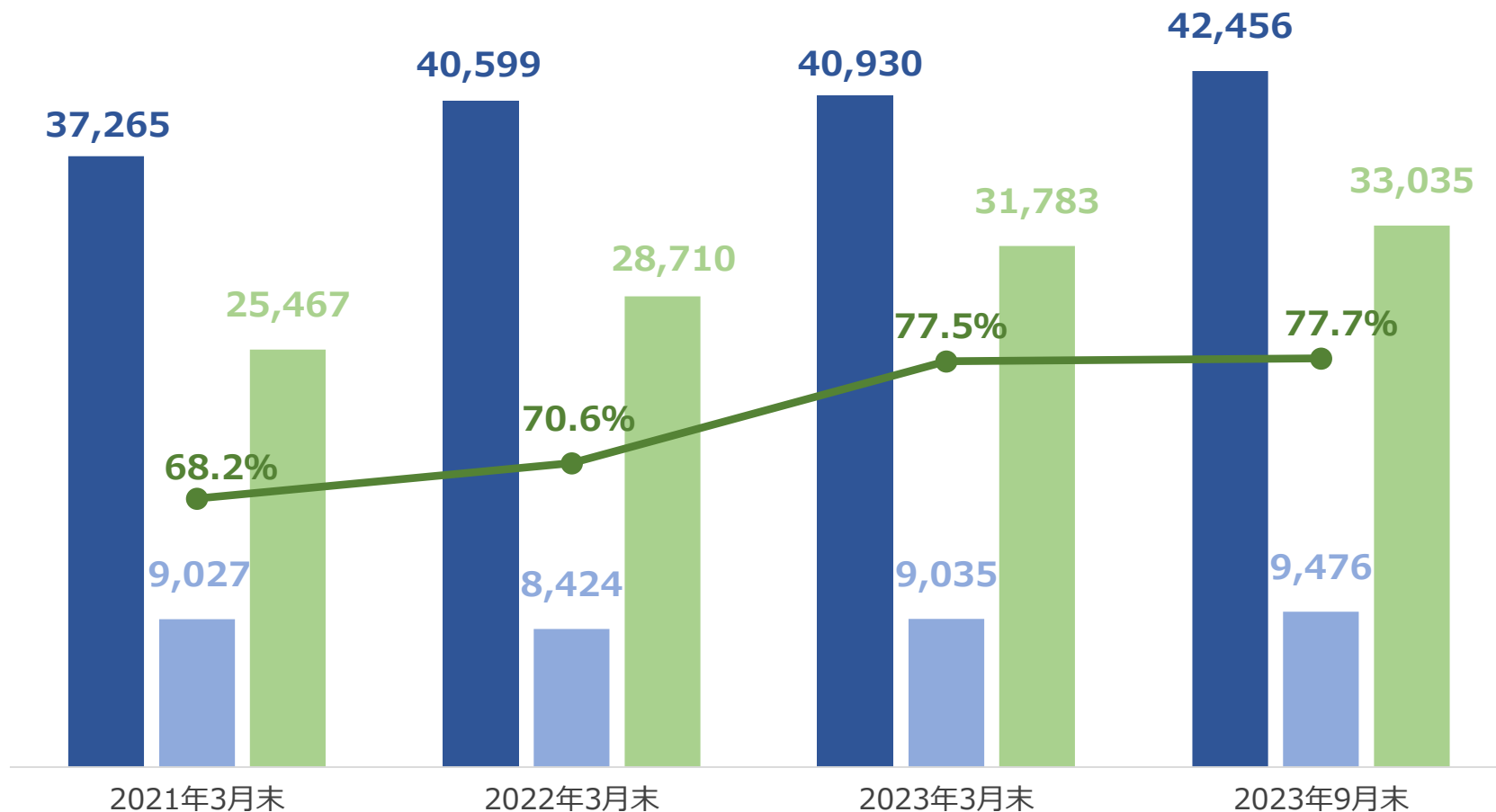
- CF増加要因
 - 棚卸資産の減少+512・仕入債務の増加+899・未払消費税の増加+102
 - 法人税支払減少+163・法人税還付+104
- CF減少要因
 - 賞与引当金の増加-30・為替差益の減少-15

貸借対照表 主要項目推移

(単位：百万円)

貸借対象表

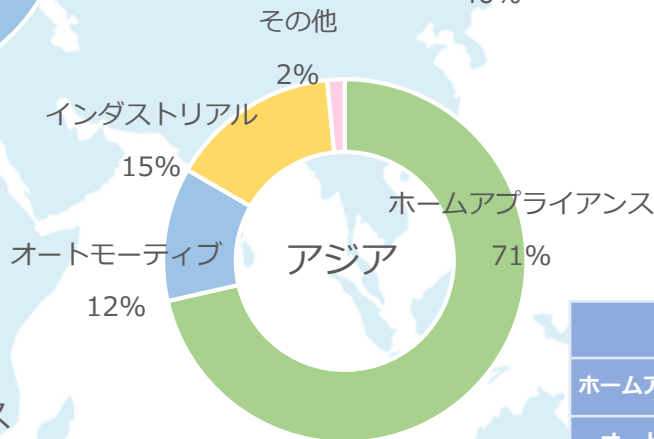
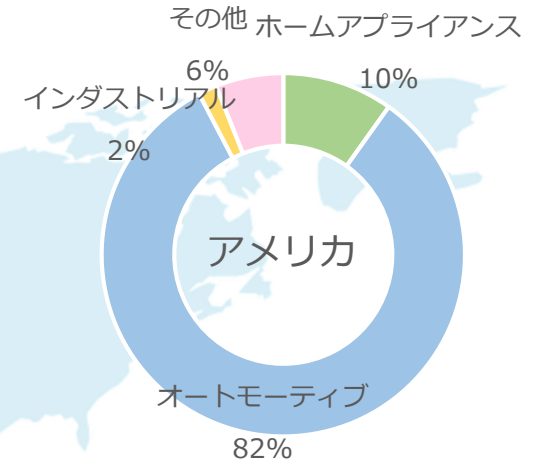
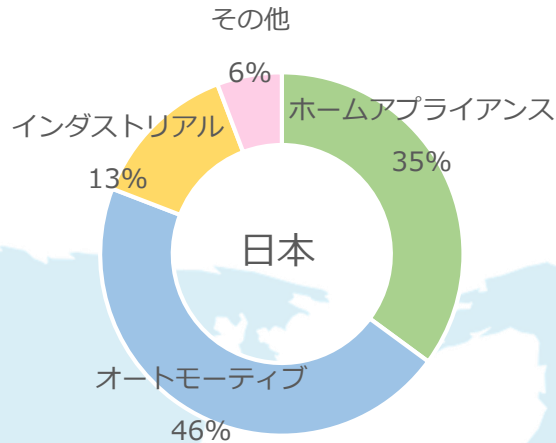
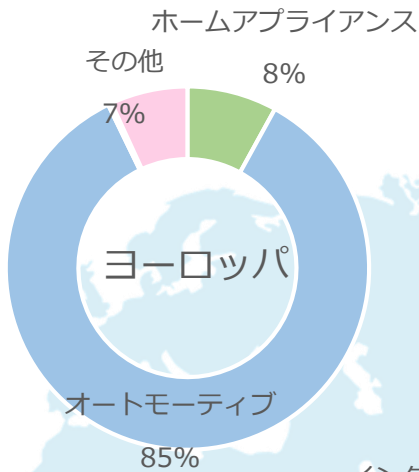
■ 総資産 ■ 有形固定資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率



地域別売上高（売り先ベース）

2023年度 第2四半期実績

(単位：百万円)

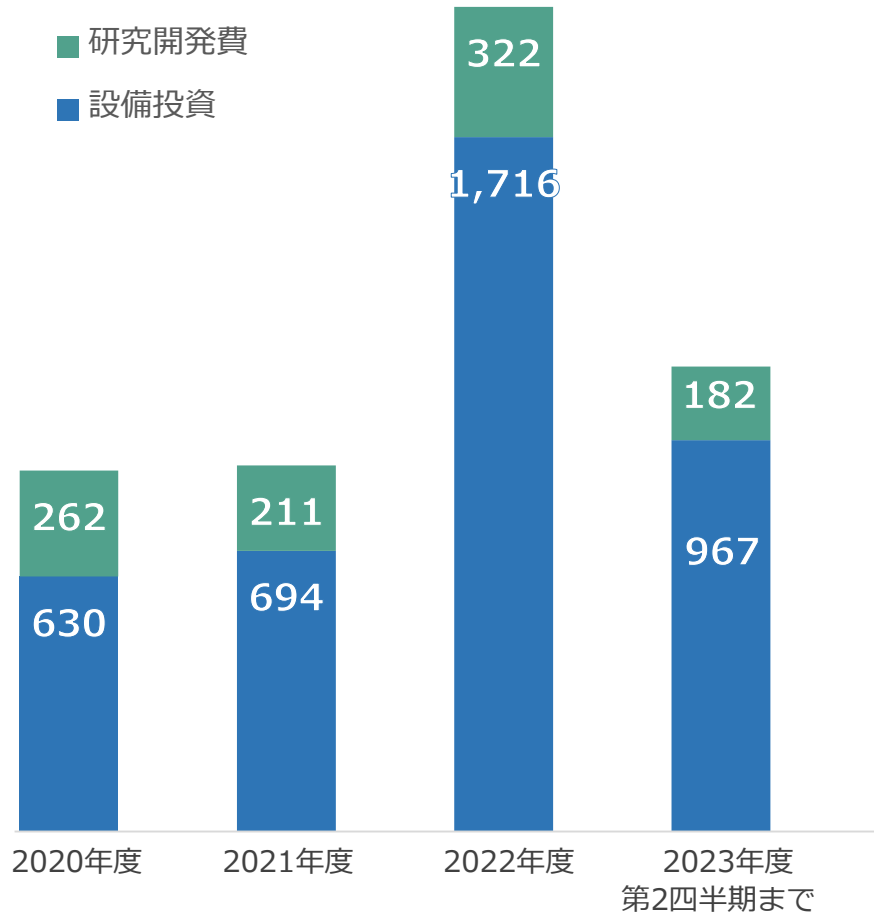


- ホームアプライアンス
- オートモーティブ
- インダストリアル
- その他

	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	合計
ホームアプライアンス	3,404	3,929	50	36	7,419
オートモーティブ	4,442	654	519	301	5,916
インダストリアル	1,298	831	2	6	2,137
その他	560	85	42	22	709
合計	9,706	5,499	613	365	16,183

設備投資・新製品開発

(単位：百万円)



タイ芝浦電子 アユタヤ工場再稼働



2023年2月に竣工、
再稼働
順次シンブリ工場か
らラインを移管予定

福島芝浦電子 松川工場第2工場新設

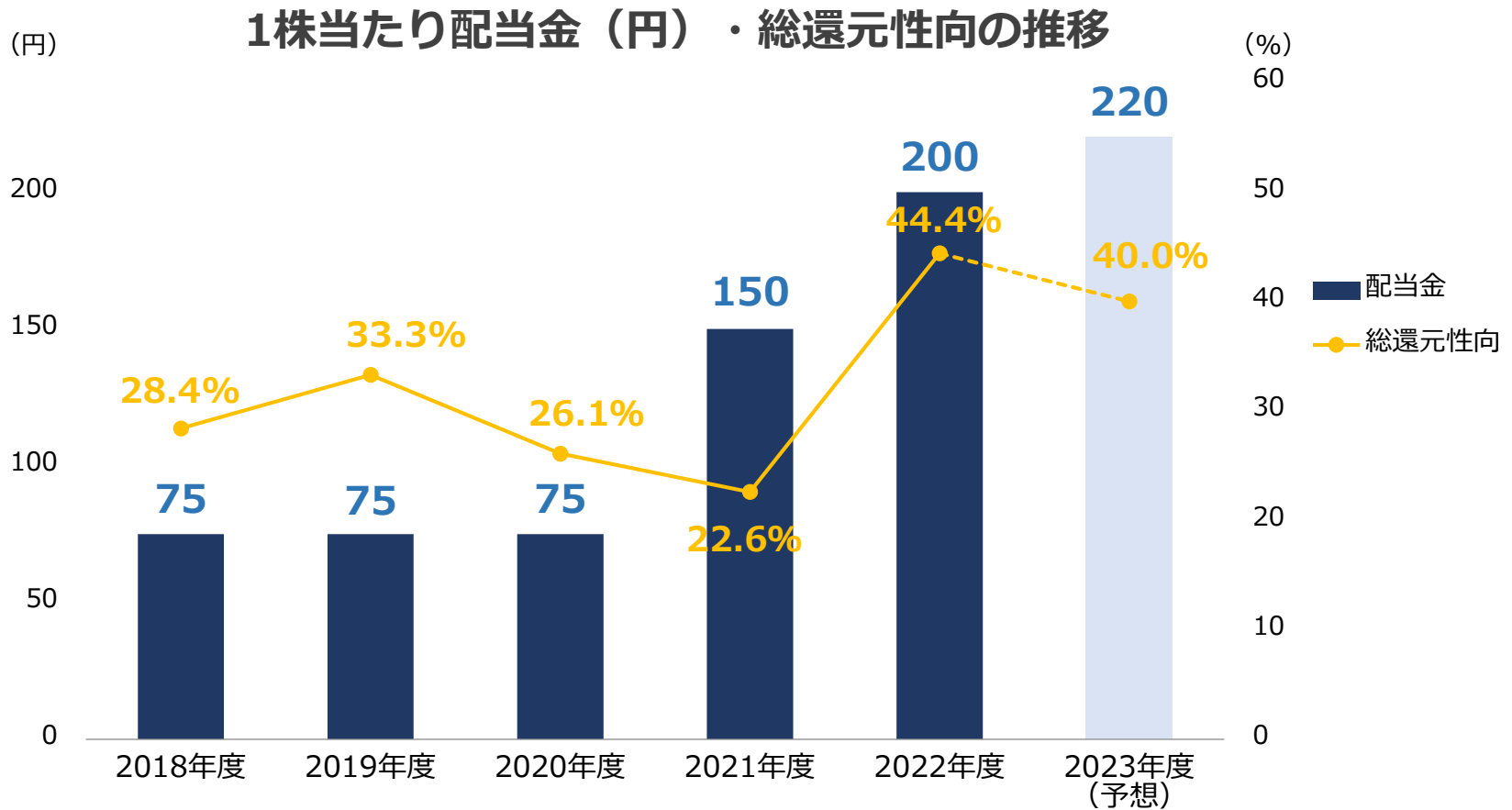


素子生産キャパシティ
増強のため第2工場を
新設
2024年2月に着工予定

タイ芝浦電子 太陽光パネル導入



2050年のカーボン
ニュートラル実現に向
けて、太陽光パネルに
よる創エネを実施



- 2023年度決算後の予想配当金は1株あたり220円
- 配当にあたっては、配当性向やROE（自己資本利益率）、DOE（自己資本配当率）などの指標に加えて、自己資本比率を考慮

02

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025 進捗状況

中期経営計画 達成状況：財務目標

中期経営計画 財務目標

	2023年度 計画	2024年度 計画	2025年度 計画
売上高	335億円	370億円	410億円
営業利益額	55億円	65億円	76億円
売上高営業利益率	16.4%	17.5%	18.5%
ROE	12%	13%	14%

実績・予想

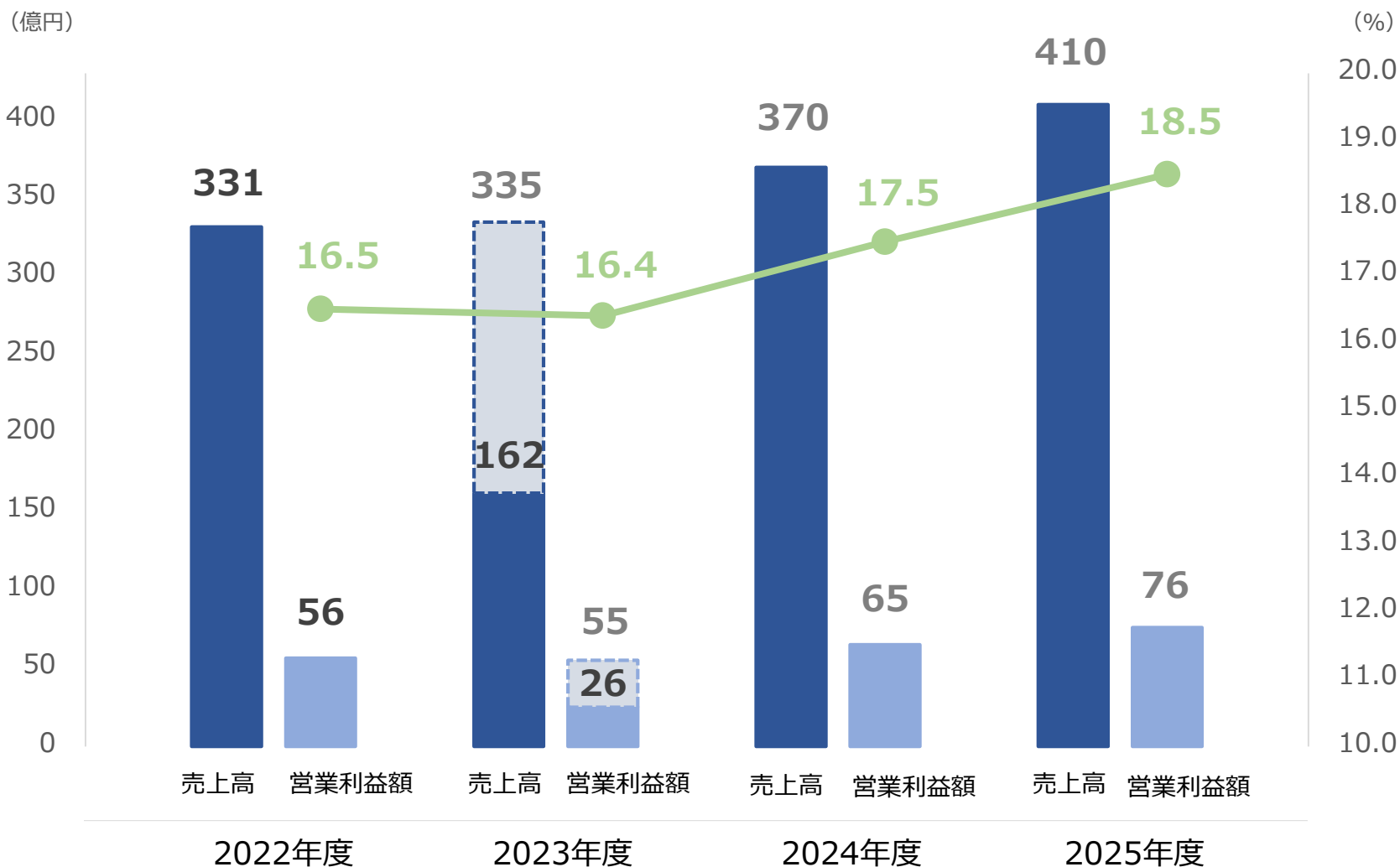
	2023年度 第2四半期実績	2023年度 予想	達成率
売上高	161億円	335億円	48.3%
営業利益額	25億円	55億円	45.5%

中期経営計画 基本方針 進捗状況

● 2023年度の重点施策と進捗状況

基本方針	進捗状況
品質・ 生産性向上	<ul style="list-style-type: none">1時間当たり生産本数 2019年度 → 2022年度 約15%増加 (福島芝浦電子 素子生産工程)タイ アユタヤ工場再稼働
製品開発・ マーケティング	<ul style="list-style-type: none">HV・EVなど環境対応車への対応強化 オートモーティブ比率2022年度第2四半期 31.1% →2023年度第2四半期 36.6% (5.5ポイント増)海外営業拠点人員増加による営業力強化
人財育成・ ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none">女性社外取締役による女性社員との座談会を実施 …現行の制度見直し人的資本投資 …社員への譲渡制限付株式の付与

中期経営計画 財務指標 売上高・営業利益額・売上高営業利益率

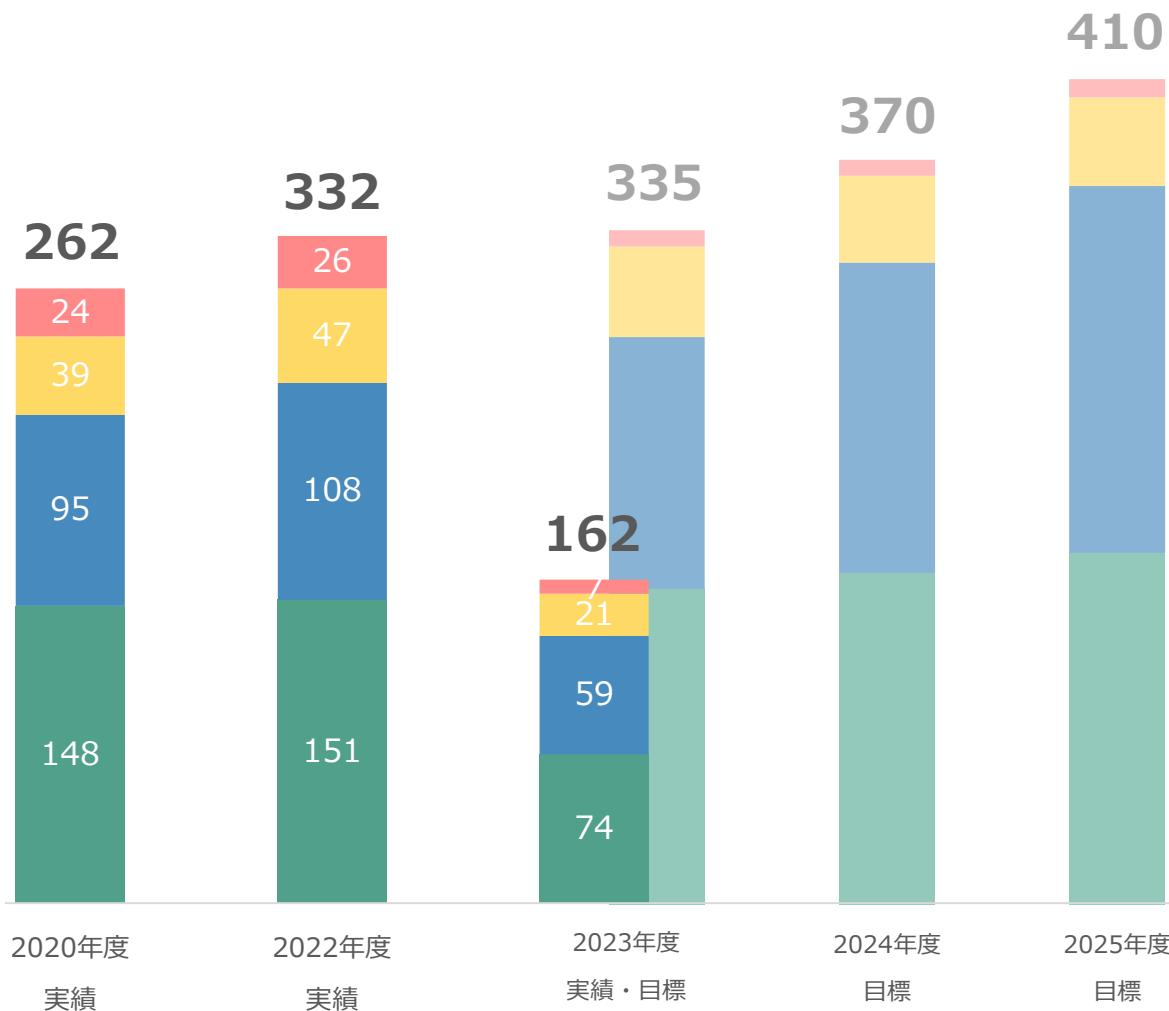


中期経営計画 用途別売上高 達成状況

(売上高：億円)

中期経営計画 Sense the Dynamics
2023年度 - 2025年度

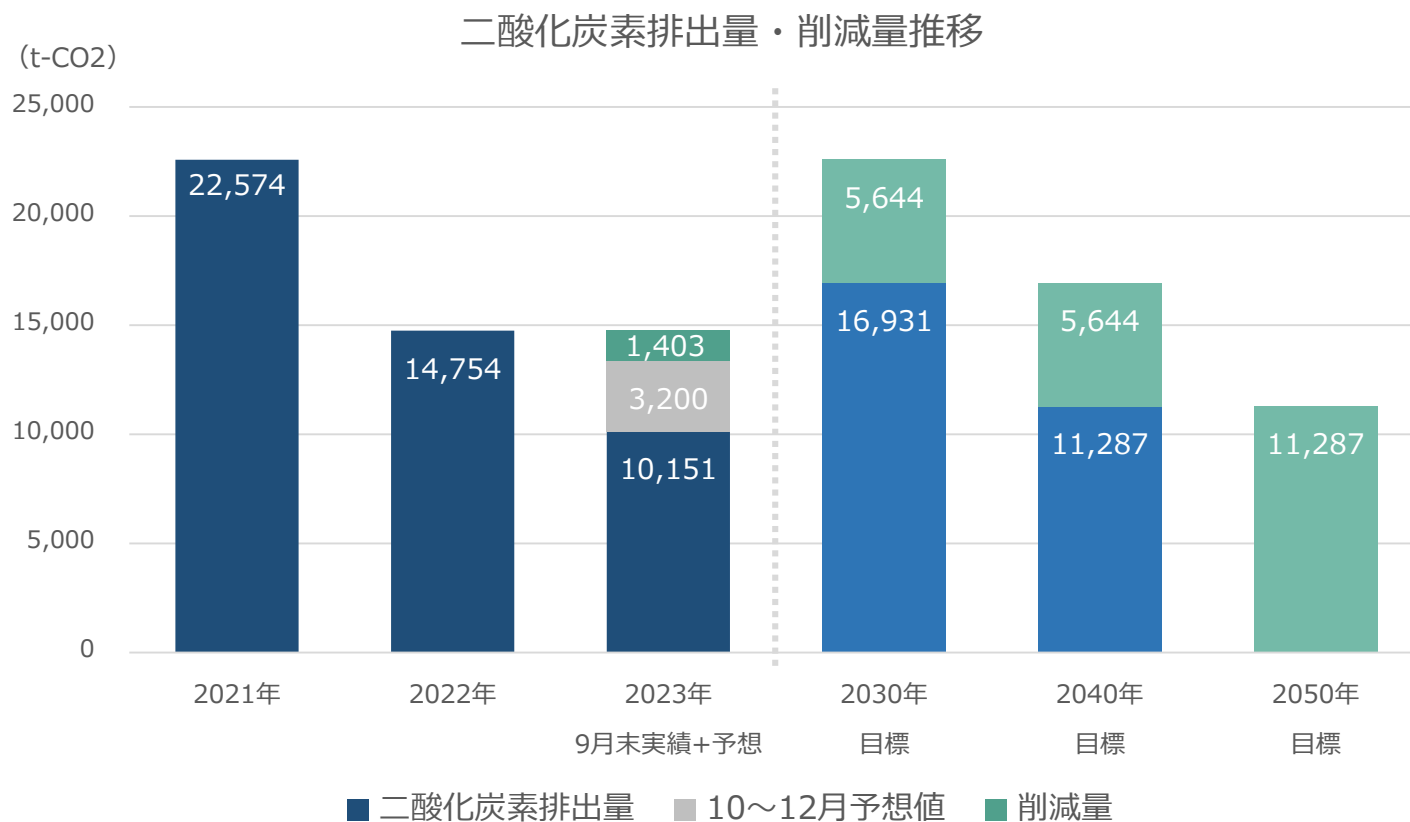
- その他
- インダストリアル
- オートモーティブ
- ホームアプライアンス



二酸化炭素排出量削減

- 2050年にカーボンニュートラルとする目標に向けて、2023年は2021年の二酸化炭素排出量実績から9,000t-CO₂以上削減する見通しです。

<削減方法> 福島芝浦電子及び芝浦電子本社において、再生可能エネルギーを電源とした電力を導入
現在タイシバウラデンシにて、太陽光パネルの設置工事を行っており、順次運行予定



03

參考資料



会社概要

社名	:	株式会社芝浦電子
創業	:	1953年3月3日
本社	:	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	:	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	:	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	:	2,144百万円
売上高	:	332億円 (2022年度 / 連結)
経常利益	:	56億円 (2022年度 / 連結)
製造拠点	:	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	:	国内3拠点、海外7拠点
従業員	:	4,616人 (2023年9月末 / 連結)
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード : 6957)
単元株式数	:	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

 SHIBAURA

 株式会社 **芝浦電子**